

魚の色の価値を「見える化」する キジハタの体色に関するアンケート調査から知覚品質（主観的価値）を数値化して検証

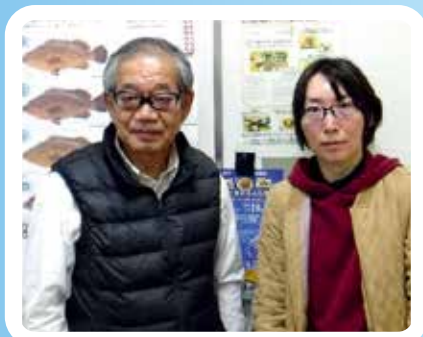
メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2023-05-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山本, 義久, 松岡, 結 メールアドレス: 所属: 水産研究・教育機構
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/317

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



魚の色の価値を「見える化」する

キジハタの体色に関するアンケート調査から
知覚品質(主観的価値)を数値化して検証



水産流通経営学科

山本義久・松岡 結

研究の目的

人間は5感と経験値から商材の主観的な価値を決定しています。これを「知覚品質」といいます。本研究では、キジハタを研究対象に取り上げ、知覚対象として体色に注目しました。消費者の持つ「知覚品質」の把握が可能であるかを検証し、「知覚品質」を金額に変換・比較することを目的としました。

研究の成果

知覚品質アンケート票(キジハタ体色)

アンケート調査ご協力お願いします。
このキジハタ〜いくらで買う？

キジハタ輸出プロジェクト
【本産大学校山本義久研究室】
送付先: [redacted]@gmail.com
@fish-wak.jp

基準を1000円/尾とすると、
A〜Dのそれぞれの順位と購入希望
金額を記入して下さい。
(例: 順位1番目が2000円の場合→①2000)

写真	順位	希望金額
	A	
	B	
	C	
	D	

図1 知覚品質アンケート票(キジハタ体色)

図1に示したアンケートにより、キジハタの体色と主観的価値のデータを収集し、評価・検証しました。その結果、4段階のサンプルでそのデータの分布は正規性が高く、十分に統計的検討ができることが分かりました。また、キジハタを認知している人でも基準の1,000円/尾と比べ、色の違いにより887~1,315円/尾まで差がみられ、人間の主観的価値は体色により大きく影響されることが判明しました(図2)。

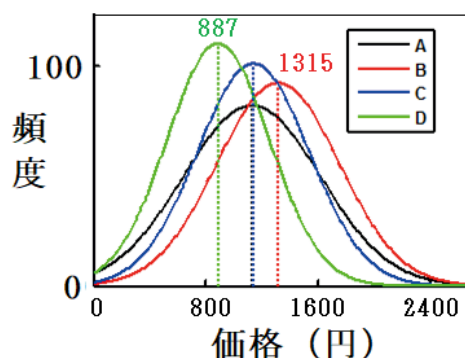


図2 キジハタ(A~D)の希望購入金額
結果頻度を正規分布化した曲線の比較

波及効果

- 商品の主観的市場価値が推定でき、マーケットイン(生産サイドではなく消費・流通サイドから)の価格決定に寄与します。
- 本研究手法により、新規マーケットの潜在的規模が推定できます。特に、輸出の場合は、有効な手段となります。